



Monthly Management Report

平成20年 4月号

お気軽にお問い合わせください

TEL 075-603-9022

## 未来へまっすぐに 京都経営

提案型会計事務所の  
新しい形を創造します。

いつもお世話になりましてありがとうございます。

気候も暖かくなり、いよいよ春がやってきました。  
梅雨が始まるまでが、一年で一番過ごし易い季節ですね。

今回のMMRでは、企業の経営分析をする上で目安となる  
経営指標を集めてみました。各業種によって、望ましい数値は  
異なりますが、まずは自社の状況把握をするために経営指標  
を算出することは必要不可欠となります。ぜひ一度自社の  
数字で分析してください。

又、京都経営では様々なセミナー・研修を開催しております。  
HPのセミナー・研修案内をご覧のうえ、ご参加ください。

### 今月のメニュー

- 経営分析  
～貸借対照表～

### 今月のお知らせ

- ★ HPリニューアル  
しました！

©2008 kyotokeiei

事業経営

経営指標には様々なものがあります。今回は貸借対照表を中心に分析します。

財務分析

自社の決算書・試算表を見ながら、計算してみてください。

財務諸表と経営分析

財務諸表は戦略や戦術を練るうえでのヒントの宝庫だった。

住生活グループ前会長 潮田 健次郎

各指標	計算式	指標が表す内容	記入欄
流動比率 (%)	$\text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$	企業の短期的な支払能力を表す基本比率。 200%以上が望ましいとされている。	
預金対借入金比率 (%)	$\text{預金} \div \text{借入金} \times 100$	資金調達に余裕があるかどうかを判断するための比率。 この値が高いほど預金の割合が高く安定性がある。	
借入金対月商倍率 (月数)	$\text{借入金} \div (\text{純売上高} \div 12)$	企業の借入余力の判定に役立つ指標。 貸付限度額が判定される主要な比率の一つ。	
固定比率 (%)	$(\text{固定資産} + \text{繰延資産}) \div \text{自己資本} \times 100$	長期的な支払能力を判断する基本的な比率。 100%以下であれば自己資本だけで調達と判断できる。	
自己資本比率 (%)	$\text{自己資本} \div \text{総資本} \times 100$	資本構造の健全性を表す重要な指標。 理想的には、この比率は50%以上が望ましい。	
負債(ギアリング)比率 (%)	$\text{他人資本} \div \text{自己資本} \times 100$	他人資本が自己資本に対してどれだけかを示す指標。 低いほど財務の安定性が高いといえる。	